

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ユニプレス株式会社 相模事業所 事務厚生棟	階数	地上3F
建設地	大和市中央林間西6丁目3825番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条指定地域	平均居住人員	399 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,640 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年4月11日
敷地面積	3,262 m ²	作成者	ユニプレスサービス㈱
建築面積	1,251 m ²	確認日	2019年4月12日
延床面積	3,625 m ²	確認者	ユニプレスサービス㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ B+: ★ ★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
各室のスペースは、余裕のある空間とし、事務室内のレイアウト変更が容易にできるよう配慮し、情報通信及びセキュリティに対応した、省エネ重視の設計とした。		
Q1 室内環境 外部の騒音(航空機等)対策として、開口部はT-2の建具を使用し又、各室内にはF☆☆☆☆の建材を採用した室内環境に配慮した設計とした。	Q2 サービス性能 事務室は、十分な執務スペースとOA機器に対応した個別専用電源、個別LAN配線とし、情報処理機能に対応した設計とした。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 省エネ性能の空調機器と事務室や会議室は熱交換型換気扇を使用し、又、外皮の断熱性能を上げて省エネに配慮した設計とした。	LR2 資源・マテリアル 仕上げ材にリサイクル資材を使用し、又、各使用材料の化学物質の排出に配慮した設計とした。	LR3 敷地外環境 CO ₂ の排出量を配慮した設計とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される